

2020年3月7日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

経尿道的前立腺肥大症手術後の膀胱テネスムス症状の要因についての検討

2. 研究責任者

海南病院 看護部 5C病棟 黒川卓也

3. 研究の概要

前立腺肥大症に対する経尿道的手術として当院では、経尿道的前立腺切除術（TURP）をはじめホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）や経尿道的バイポーラ電極前立腺核出術（TUEB）が行われている。前立腺肥大手術の術後、麻酔が覚めてくる t 膀胱テネスムス症状が出現することがある。膀胱テネスムス症状とは「尿しぶり」ともいわれ、強い尿意切迫感・下腹部痛・尿道痛などの症状である。本研究では一般的な経尿道的前立腺肥大症手術の術後の膀胱テネスムス症状の要因となる因子を明らかにし、看護介入できる項目を検討する。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2019年11月～2020年4月に5C病棟に入院し、前立腺肥大症に対して経尿道的手術を受けられた患者さん

②使用する試料等

残余検体：該当外

カルテ情報：年齢、既往歴、BMI、術式、麻酔の種類、麻酔時間、術中出血量、尿道カテーテルの太さ、固定水の量、前立腺重量、膀胱テネスムス症状の有無、膀胱持続灌流の有無

個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究」に

関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

5. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 5C 病棟 黒川卓也

電話：0567-65-2511（代表）